

# Ad Mornings

## **Ad Mornings**

*Place of Living Information*

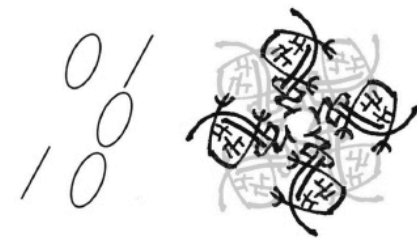
**Place of Living Information**











本展覧会では、民主的な精神や環境を育てた場所として発展したコーヒーハウス<sup>1</sup>をはじめ、新聞の歴史に関わる場所を参照しながら、対話や情報の流通を通じた「生きた情報の場所」を作り出す。

展示では、3面の大型スクリーンで東京オリンピック・パラリンピックやそのレガシーイベント、国葬、移民に関して、公共の場で試みられたパフォーマンスの記録、そこでの取材を元にした3DCGやドローイングの映像が流れる。

会期中は毎日、当日の新聞記事から着想を得て指示書<sup>2</sup>のパフォーマンスを構想し、記者による各々のパフォーマンスの相談が公開された後に即興的に実施される。その記録はAd Morningsが発行する紙面となり、痕跡と共に展示空間を更新する。

The exhibition creates a 'place of living information' through dialogue and the circulation of information, in reference to coffee houses<sup>1</sup> that were developed to foster a democratic spirit and environment, as well as other places related to the history of newspapers.

The exhibition features three large screens where 3DCG and videos of drawings are projected. The videos are documentations of actions that were carried out by Ad Mornings members in reaction to the Tokyo Olympics and Paralympics and its Legacy events, the state funeral and immigration.

Every day during the exhibition, a performance based on instructions<sup>2</sup>, inspired by the day's newspaper articles is conceived and improvised after the reporters discuss together in the space. The record of the performance is also published as another newspaper, which updates the exhibition space along with its traces.



<sup>1</sup> 17世紀～18世紀重商主義の時代に繁栄したロンドンのコーヒーハウスは、トルコからもたらされた神秘的なコーヒーを飲む場であり、同時に広い意味での情報センターだった。客は店に置かれた新聞を一杯のコーヒー代で自由に読み、店内の会話に耳を澄ますことで、中産市民階級（成年男子）として必要なさまざまな情報を得ることができた。例えば、政治家は政論を戦わせ、商人や株屋は取引所近くのコーヒーハウスに集まり経済情報の収集をし、あるいは自分の店をもてない零細な店主はコーヒーハウスを郵便の受取所にするこもあった。さらに、文学においては、作家ジョセフ・アディソンがバトンス・コーヒーハウス店内にライオンの頭をついた箱を置き、客からの投稿を募り、市民の日常生活がエッセイ執筆に生かされたという。政治とスキャンダル、毎日のゴシップ、ファッション、時事問題、そして哲学と自然科学を取り巻く議論を通して「世論」が形成される場となったコーヒーハウスは、国の検閲とのバランスをとりながら、どのような層にどのような情報を届けるかの試行錯誤が重ねられ、ジャーナリズムの発生の場とすることができる。

<sup>2</sup> Ad Morningsはその時々々の社会に対して記事を作成する際に「行為のスペック」を残してきており、過去2年間で100個近くがストックされている。本展覧会ではパフォーマンスの指示書として会場に並べられ、指示そのものも編集、更新されていた。

<sup>1</sup> Coffee houses in London that flourished during the period of heavy commercialism in the 17th-18th centuries, were places where men drank the mysterious coffee brought from Turkey, but it was also an information center. Customers were free to read the newspapers in the shop for the price of a cup of coffee, and by listening to the conversations in the shop, they could obtain information they needed as middle-class citizens. For example, politicians debated; merchants and stockbrokers gathered in coffee houses near the stock exchange to gather economic information; and people in business who did not have physical shops sometimes used the coffee houses to receive mail. Essayist Joseph Addison placed a box adorned with a lion's head inside Button's Coffee House and invited contributions from customers, whose daily lives inspired him to write essays. The coffee house became a place where "public opinion" was shaped through politics and scandal, daily gossip, fashion, current affairs and debates surrounding philosophy and the natural sciences. It is where journalism emerged, with repeated trial and error in determining what information to deliver to each demographic while striking a balance with state censorship.

<sup>2</sup> Ad Mornings has left behind "specifications for actions" when creating articles as a reaction to the current social situation, and has stocked nearly 100 instructions over the past two years. In this exhibition, instruction cards were laid out in the exhibition space as instructions for the daily performance, and the instructions themselves were edited and updated.



パフォーマンス・ノート

期間：2022/12/22～2023/1/7 (12/26、12/29～1/3を除く)

時間：14時～/16時～

パフォーマー：3人

記録係：1人

タスク：展示空間における情報の創造、活性化、流通。＝指示書の作成（既に存在する指示書も使用可能）とアクティベーションから新聞を制作する。

方法：

1. 記録係は、映像と音声を消し、部屋のあかりをつけ、開始を告げる。
2. パフォーマーは、テーブルに集まる。
3. パフォーマーは、指示書「コーヒー、あるいは他の好きなものを飲みながら新聞を読み、その日できた染みを観察する。」を実行する。記録係はパフォーマンスを詳しく記録し、タイム・キーピングを行う。
4. 1人のパフォーマーが、コーヒーを新聞にこぼす。染みができた部分を、立って朗読する。朗読が終わったら、新聞を譜面台へのせる。
5. 3人のパフォーマーは、朗読から連想する指示書をひとつ、もしくは複数選ぶ。選んだ指示書、使う道具（あれば）、実行したい場所を共有し、順番を決める。（時間は6分間。記録係は、1分ごとに残りの時間を告げること。）
6. 3人のパフォーマーは、指示書を譜面台へのせる。
7. 最初のパフォーマーが、指示書を実行する。
8. パフォーマンスが終わったら、選んだ指示書を読む。
9. 次のパフォーマーが、指示書を実行する。
10. パフォーマンスが終わったら、選んだ指示書を読む。
11. 最後のパフォーマーが、指示書を実行する。
12. パフォーマンスが終わったら、選んだ指示書を読む。
13. 3人のパフォーマーは、部屋から出ていく。
14. 記録係は、映像と音声をつけ、部屋の明かりを消す。
15. 3人のパフォーマーは、部屋へ戻り、パフォーマンスの痕跡を新聞にする。

Performance notes

Period: 2022/12/22 - 2023/1/7 (except 12/26, 12/29-1/3)

Time: 14:00- / 16:00-

Number of Performers: 3

Notetaker: 1

Task: Create, activate, and circulate information in the exhibition space. i. e.

Create the newspaper from the production and activation of the instructions (you can also use instructions that already exist).

Method:

1. The notetaker turns off the video & sound, turns on the room's lights, and announces the beginning.
2. Performers gather at the table.
3. Performers execute the instruction, "Read the newspaper while having a cup of coffee, or whatever you like, and observe the stains made that day." The notetaker records the performance in detail and conducts time-keeping.
4. One performer spills coffee on a newspaper, stands, and reads the stained part. The performer places the newspaper on the scoreboard after reading.
5. Performers choose one or more instructions related to the reading. They share their selected instructions, the tools they will use (if any), the location to perform, and the order in which they will take turns. (Duration is 6 minutes. The notetaker announces the remaining time for each minute.)
6. Performers place their instructions on the scoreboard.
7. The first performer executes the instruction.
8. After the performance, the performer reads the selected instruction.
9. The next performer executes the instruction.
10. After the performance, the performer reads the selected instruction.
11. The last performer executes the instruction.
12. After the performance, the performer reads the selected instruction.
13. The three performers leave the room.
14. The notetaker turns on the video & sound and turns off the room's lights.
15. The three performers return to the room. They make a newspaper from traces of their performance.

コーヒー、あるいは他の好きなものを飲みながら新聞を読み、その日できた染みを観察する。



0/0/0 1/0/0/1/0  
1/0 0/0/0/0/0  
//Index/0

20221222 p.8



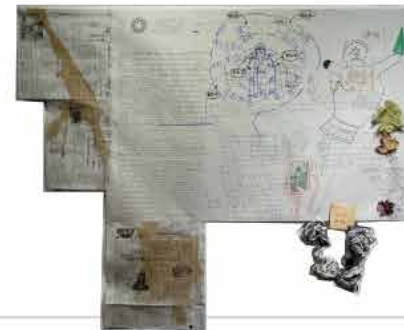
20221223 p.9



20221224 p.10



20221225 p.11



20221227 p.12-13



20221228 pp.14-15



20230104 pp.16-17



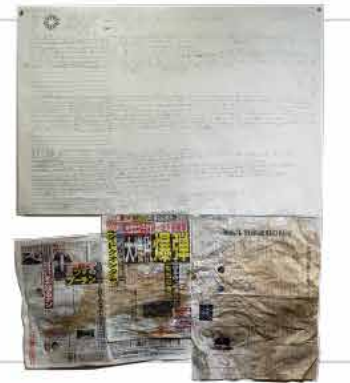
20230105 pp.18-19



20230106 pp.20-21



20230107 pp.22-23







0/1  
1/0  
2022 12.22  
1/0000000

Tsun Hong Charpe  
Lang-Charpe  
Yamoto Yuka  
Tsuchimoto Ayumu



0/1  
1/0  
2022 12.23  
1/0000000

Tsun Hong Charpe  
Lang-Charpe  
Tsuchimoto Ayumu

朝日新聞 9面国際面

記事作成の指示書を書き、ライオンの口に投函する。 14:02-14:14

記事にタリバンが女性の大学進学を禁止したとあり、大和は彼女らの気持ちを想像しながら「私は学びたい」と叫ぶ。奥の小部屋で指示書に「私は学びたい」と書く。書き続ける。ライオンの口に右手で指示書を投函する。

身体に希望を吸い込む方法を1つ見つける。 14:14-14:17

土本「あなたの希望はなんですか？」と観客に聞く。「私は学びたい」「平和に暮らす」「I want to be happy」「人間以外の生き物が人間よりたくさんいること」「ちょっと今はわかりません」「みんなが何て言ったか知りたいです」との返答。土本「心に余裕がないと夢も希望も持てない。その場にいる人にそれぞれの希望を吸い込んでお礼を言う。」

身体を撮影し、身体を意識したときに思い浮かんだ言葉を記述する。 14:17-14:22

ユニ、窓をあける、あかない。手伝ってもらう。窓から見える交差点を撮影。交差点に行き、今度はそこから3階の展示室を撮影する。涼しくて、皮膚に風があたって想像していなかった人たちが下において、頭のキューツとしてたものがふわーとなりました。ユニ「世界には自由を制限されている人がいる。私の身体はどのような自由があるのかと思った。室内から外へ出ることができる身体を観察した。そして身体があるはずの／あった場所を撮影した。」

朝日新聞 1面

東京五輪経費の国費が2800億増になった記事と今年の出生数77万人台、少子化が想定より11年早い記事について16:03-16:09 ユニ、コーヒーを盛大にかける 記事を読む 光に当たって読みにくそうに読んでいる 別の記事を読み始める 子ども、ウクライナ、コロナ

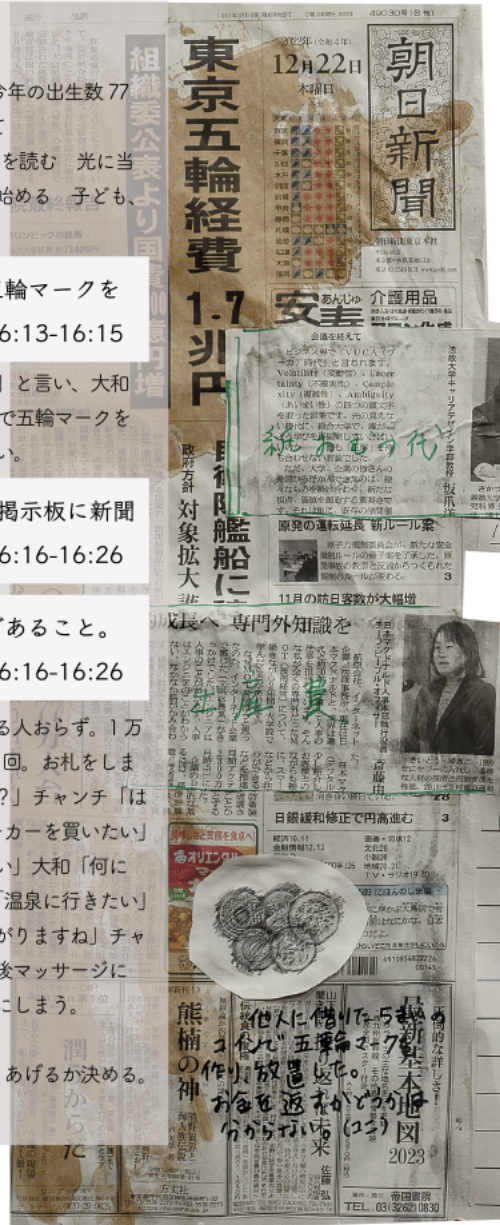
描画道具を手に持つ方法以外の方法で五輪マークを描く。 16:13-16:15

ユニ「お金持っていたら貸してもらえませんか？」と言い、大和は小銭を貸す。ユニは他人に借りた5枚のコインで五輪マークを作り、放置した。お金を返すかどうかはわからない。

2020年オリンピックの気配が残る町の掲示板に新聞を貼る。 16:16-16:26

経済に関する記事を作成。ただし虚構であること。 16:16-16:26

大和「お札を持っている人いますか？」持っている人おらず。1万円札の形を新聞の上でなぞる。1、2、3、4、5、6回。お札をしまい新聞紙を切る。大和「お金欲しい人いますか？」チャンチ「はい」大和「何に使いますか？」チャンチ「これでペーパーカーを買いたい」大和「お金欲しい人いますか？」チャンチ「はい」大和「何に使いますか？」チャンチ「紙おむつを買いたい」ユニ「温泉に行きたい」チャンチ「保育園の学費に使いたい」大和「欲しがりますね」チャンチ「出産費用にほしくて」ユニ「温泉に行った後マッサージに行きたいです」最後に切ったお札は自分のカバンにしまう。16:24 大和、掲示板にお札を貼る。大和「ニセ札を作り、欲しがった人に理由を尋ね、あげるか決める。最後の1枚は掲示板に貼る」



14:02-14:14

ジョイスが東京新聞を読み始める。脳のイメージに注目する。ジョイスが新聞の上にコーヒーを垂らす。ティッシュで拭く。ジョイスはたちあがり、新聞を読み始める。無人の月がアメリカのフロリダ州からうちあげられた。アメリカ製。民間だけで月面における成功例になりそうです。11月に。ジョイスは読みおわり、新聞を譜面台に置く。ジョイス、土本、チャンチが指示書を選びはじめる。けっこうみんな立ち止まっていて、動かない。チャンチ外をながめる。土本とジョイスは壁をながめる。ジョイスはしゃがむ。残り3分。残り2分。土本とチャンチは選びおわる。ジョイスはえらぶのに時間がかかっている。相談している。

経済に関する記事を作成。ただし虚構であること。 14:15-14:16

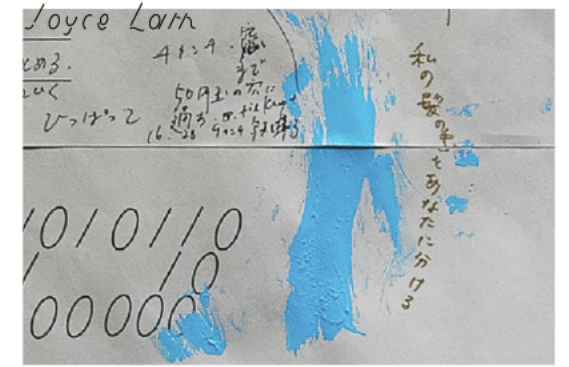
自作した虚構の記事を読む。「旅で世界を元気にしよう。GO TO MOON」Go To Moonでは「安心・安全な旅行」と「観光復興」の両立を目指します。

1枚の紙を世界に見立て、自分の立つ位置、周りに見えるもの、遠くに見えるもの、風景を、対話をしながら描いてもらう。 14:16-14:20

チャンチとジョイスは大きな壁を挟んで立つ。チャンチ（以下チャ）「今僕のまわりにはかすかにライトが床にあたっています。床にはまるい穴があいていて、親指の先が入る。その先にもう少し小さな穴、髪の毛もある」ジョイス（以下ジョ）「髪の毛の色は何色？」チャ「くろ」ジョ「長い？」チャ「5cm。しみがあがる」ジョ「どんな？」チャ「筆のあと、黒いあと、暖色、緑がかっている」ジョ「右側には？」チャ「灰色の壁」ジョ「大量の壁？」チャ「はい」ジョ「厚いんですか？」チャ「分かりません。うしろにも壁があって、木とビルと、電線。ビルには何か干されている」ジョ「窓は開けられますか？」チャ「はい」ジョ「外の天気は？」チャ「晴れていて、一部に日が差している」ジョ「外は人は見えますか？」チャ「外のビルの窓に座っている人の、頭が見えるかも。ただのものかも。ブラインドが1/3開いて、そこからかすかに見えます」ジョ「座っている？」チャ「動かないからわからない」ジョ「うしろには何かありますか？」チャ「わかりません」ジョ「もう見えないですか？」チャ「そうです」

6つの漢字を筆順にバラバラで書く。書き間違いも保留する。それぞれの画数を数える。分解した感じの筆画を集めてキノコ雲を作成する。 14:21-14:24

ジョイスは黄色いペンで紙に線を描きはじめる。ときに、直角、いろいろな方向に向かって、大体3cm位の線を、1cm位の線も混ぜている。マクドナルドのようなマークも混ざっている。黒いペンで、黄色い線の横に番号を振り始める。全部で1~34番。続けて黒いペンで番号を密集して書く。



ジャガイモで食事と栄養不足で痩せこけた人の芋版を作り、割印を押す。 16:15-16:16

土本が新聞を床に2枚並べて、空色のペンキを髪につけて、割印のように新聞の間にハンを押す。

Wish (願い) と現状の違和感を探す / Wish (願い) 踊りという願いを祈り捧げる。 16:16-16:21

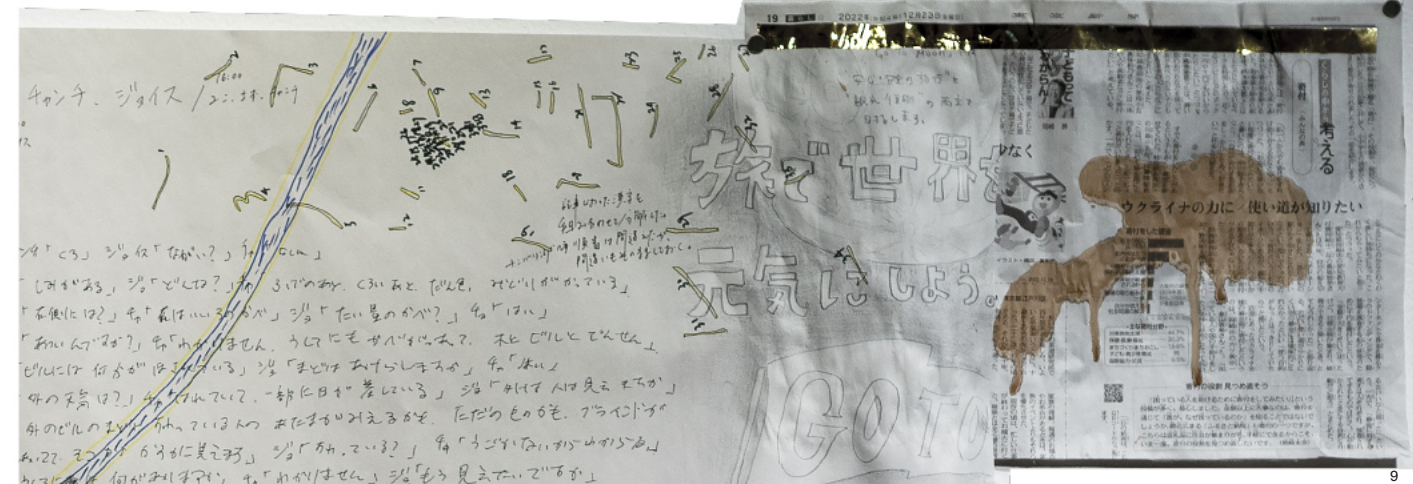
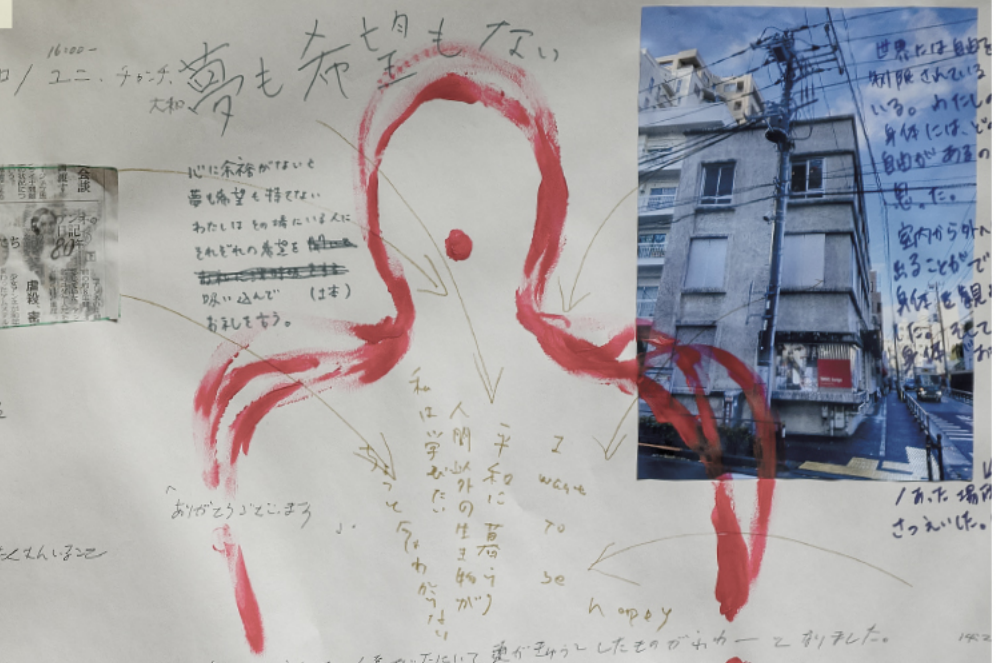
チャンチが両手を広げて何かをシャフルしている様子。ユニは合掌したり、拍手したりダンスをする。

ステキな寄付をする。 16:21-16:28

ユニがリボンを部屋のドアノブに引っかけて、もう一方に50円玉を結んで、窓から降ろす。


0/1  
1/0  
2022 12.22  
1/0000000

人に理由を下さる...  
9面 国際  
14:07  
14:14-14:17  
14:17-14:22  
16:13-16:15  
16:16-16:26  
16:16-16:26  
16:15-16:16  
16:16-16:21  
16:21-16:28






0/ 10



2022 12.24

Yun Hong Charpe  
Tsuchimoto Ayumu  
Yamashina Koyohji  
Usami Nao

0/ 10



2022 12.25

Yun Hong Charpe  
Yamashina Koyohji  
Usami Nao  
Yamato Yuka

14:02  
山科、読売新聞を読む、指示書を選ぶ。

誰かと握手する。

14:08-14:12

誰かたった1人に握手、ライオンの部屋から椅子を持ってくる。座る。身なりを整える。ジャンパーのチャックを閉める。瞑想する。観客の1人と握手をする。赤いセーターの女の人。「イヤだと言ったらどうなるんだろう…」

「生きる」を分解してリストを作る。

14:13-14:20

宇佐美、大きな紙に文字を書く。パンダの「生きる」(緑)と人間の「生きる」(赤)をリスト化し、共通点を線で繋げる。

移動しながらマッピングするための道具を作りその道具を用いて輪郭線に捉われなくて書く。

14:13-14:20

ユニ、宇佐美と同時にパフォーマンス開始。うずくまりながらテープを床に貼っていく。宇佐美の前で止まってまたうずくまる。



16:11  
宇佐美、読売新聞2面にコーヒーをこぼして指示書を選ぶ。

他者のブラインドを補って並走する。

16:19-16:21

トイレに行きたいと言って、ユニに連れて行ってもらう。

木の棒にスマホをつけてセルフィーを撮る。

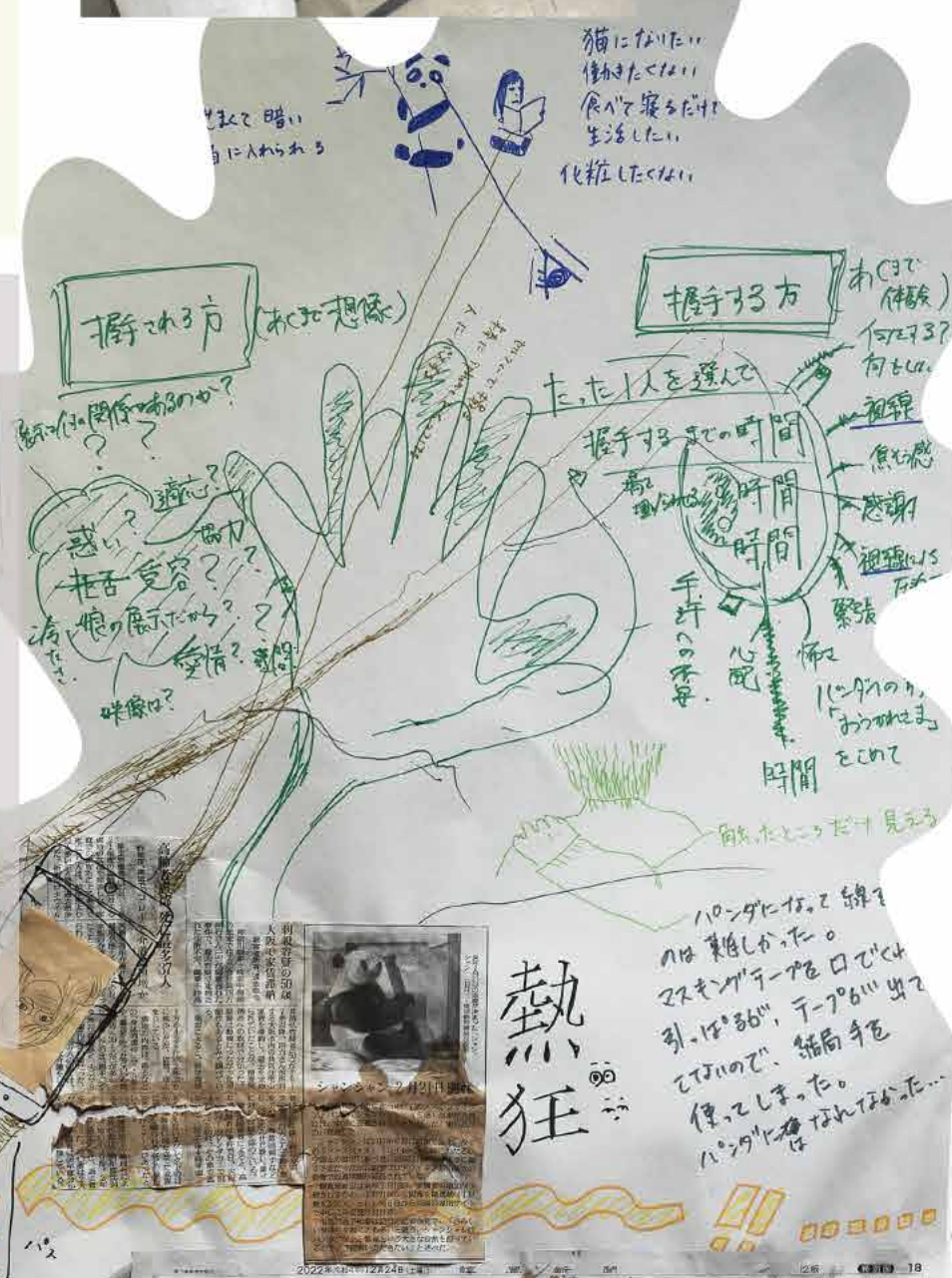
16:21-16:25

木の棒にスマートフォンをつけたものを観客に渡す。土本「私にパスしてください」。スマートフォンをボールに見立ててパスしてもらう。その間にセルフィーを撮ってみたが、撮れなかった。

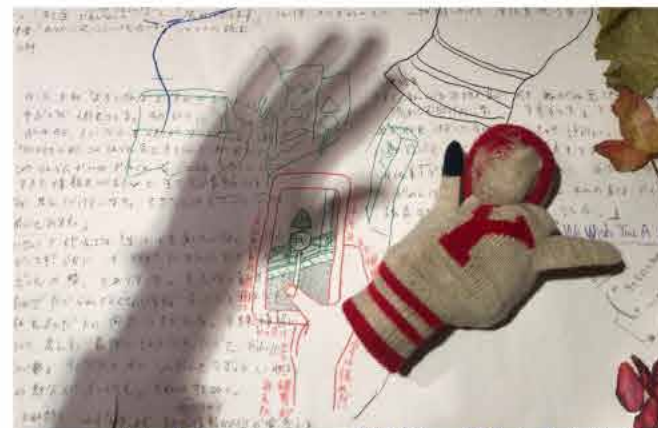
皆で熱狂し、その後我に戻る。

16:26-16:27

3人で集まる。テレビがあると想像して、一点を見つめて「ゴール！」という言葉で合図に、身体だけで熱狂し、その後と3人が沈黙に戻る(我に戻る)。



快拳 進化に熱狂



14:02-14:08

ユニ、毎日新聞を床に広げる。バサバサとページをめくる。紙面に目を近づける。山科は立って宇佐美は座って見ている。コーヒーがこぼされる。すぐにふく。「韓国の2つの国 イ・ヤンジさん 30年 セレクションが刊行される 山梨県に生まれた 群像に発表 芥川賞、石の声 急性心筋炎、恋の話、イーヤンジ リーエイ?オン? ルーツ、中国 京都 姉との再会 朝鮮人であるとはっきり言えた 兄弟 母国 苦悩 ぶつう」新聞をたたむ。歩いて譜面台に置く。

ぶつうについて考える。

14:14-14:15

宇佐美、展示室を歩きながら、指差して言う。「ぶつうの展示室」「ぶつうの白い壁」「ぶつうの日本人」「ぶつうの男性」「ぶつうの灰色の壁」「ぶつうのフローリング」

余白にスポーツ或いは生活の所作を埋めこむ。

14:15-14:18

支払いが遅れている山科が、クレジット会社に折り返し電話をかける。電話を繋いだまま、スマートフォンを床に置き、山科は走る動作をしつづける。「おそれいりますが、ご本人確認 ビボバボバボボ」「やましなこういちさま 59,472円が不払い 明日中にお手続きを」。

あなたに近づこうとしても近づけない。

14:18-14:26

壁ぎわのユニは手を差し出し、山科を追いかける。山科は逃げる。宇佐美、ゆっくり歩く。ユニが近づこうとしている。観客にも手を差し出す。



16:04-16:10

毎日新聞「北海道の知られる特別展 明日死ぬかのように 実際は立派な吉田みえこ1度のあやまちで、恐怖心が薄れるでしようか スマホを見ている」新聞を読み終わる。みんなが指示書を選び始める。山科は壁ぎわにいる。大和は模型を部屋に持って帰る。宇佐美は座ってカードを選んでいる。宇佐美はカードを選び、スマホのケースをはずす。

Wish (願い) と現状の違和感を探す。

16:12-16:15

山科は、鈴を持って2回手を叩く。「オリンピックが開催されますように」2回手を叩く。「アド・モーニングスがたくさん売れますように」鈴→2回手「お尻の穴が開いていますように」鈴→2回手「都バスの乗り換えがうまくいきますように」鈴→2回手「この建物が6階でありますように」ライオンに向かって鈴→2回手「この部屋が氷浸しになりますように」

生きた情報とは何かを考える。新聞を読む。

16:15-16:22

「よろしければお座り下さい」手袋で大和は人形を作る。手のひらの部分に「Y」の文字がある。ポーチからミニ・ツリーを人形が運んでくる。人形「クリスマスの日にこの展覧会に来てくれてありがとう。この展覧会は、Place of living information、生きた情報を作るために生きた情報とは何か考え続けています。生きたとはどういう意味が調べてみます。大辞林では【生→火を通していない】【作為を施さず直に】【録画・録音に頼らず直接】【生ビール】などがありました。生きた情報はすぐに傷んで食べられなくなります。古い情報も、それを読んだ人の中で生き返る。生きた情報について考える。最後に新聞を食べて、終りにしたい。」大和は手袋の中に新聞をちぎって入れる。「Y」の部分に膨らむ。大和は手袋から手を抜く。

よく知っている近所の道に行き、メガネを外し、自分に流れ込むだけの音や空気を味わい、写真を撮る。帰宅後、その写真を、裸眼での見え方に加工する。

16:22-16:30

メガネを外した宇佐美。深呼吸。近所へ行く。道のはじ、コーナーのところで写真を撮る。宇佐美「道路標識が読めない。画面はピントが合っているのに。私の目はiPhoneの目に拡張された。2022年12月25日」



0/10



11010110  
2022 12.27  
11000000

Yun Hong Charpe  
Jang-ChP  
Yamato Yuka

14:03-14:14

チャンチ、産経新聞を立て読んでる。ユニ、座ってストレッチをする。足を念入りにのぼす。チャンチ、新聞を床に広げ円状にコーヒーをこぼす。飛び散っているコーヒーを拭きとる。ユニ、肩肘について寝転んでそれをながめている。

14:08 チャンチよみはじめる「日銀緩和修正 車 大手 電動化戦略 トヨタ 8兆円30年EV30社 投入350万台EV車販売 夢でみた ファイルデジタル系午後9時 NHK第1892人 サイバー攻撃49人の個人情報盗まれる今すぐ行くことはない 超大型核実験の可能性ある 娘の日々 くやしなかった 自省の日々、努力がむくわれとは限らない ひとむき この一年サラリーマン生活 可能性が色々 毎日前向き リビングで輝く 産経新聞の盾が 風をよむ 必ず経済への悪影響 税制改正 財界からの批判 こうした物言いはどうか 法人税 これ以上力強い賃上げ」

現代性の神話を理解するために、画像と言葉のコラージュを作る。

14:16-14:xx

経済に関する記事を作成。ただし、虚構であること。

14:xx-14:xx

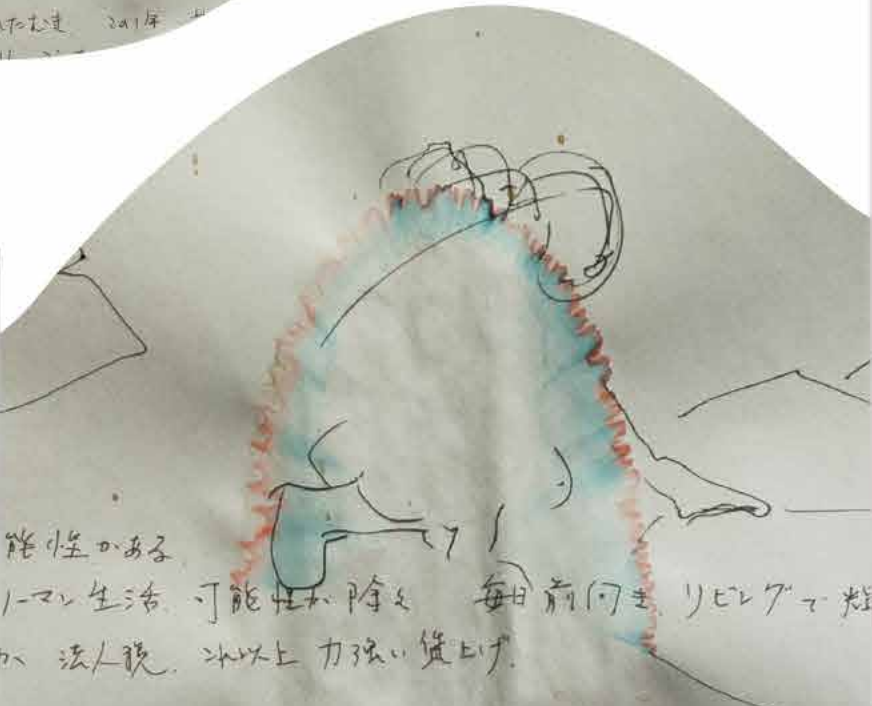
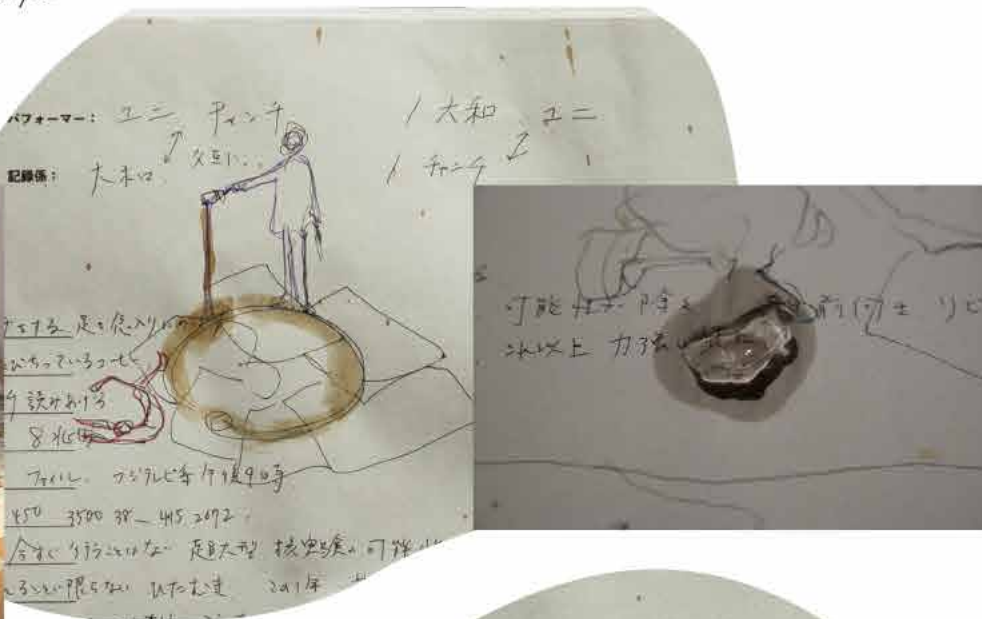
人生における最も重要な秘密について、目をつむったままタイピングをする(ブラインドタッチができる人は気を付ける。あるいは上手に嘘をつく)→26の個人情報を目をつむって読みながら書く。あるいは上手にうそをつく。

14:xx-14:xx

チャンチ、床に大きな新聞をたくさん広げる。新聞を破るかまよっている。紙面に書記の大和が書き残したことをたよりにして、チャンチがコラージュを始める。のりを塗る。新聞を切る。新聞をもっとやぶる。まんなかにはウナギ。

大和「今朝、メッシがアルゼンチンの紙幣になるという記事や今の紙幣をメッシの顔に描きかえる動画を見た」という。千円札を片手に新聞を切りとる。ていねいに切りとる。傘を持った人の形を切りとる。また切りとる。「育毛剤が卵から作られているという広告があるので、そのひよこの写真を紙幣に貼ります」次に八景島シーパラダイスのオタリアが書き初めをしている記事のオタリアをきりぬく。紙幣にはっていく。人間以外の図像で本物の紙幣から新たな紙幣をつくる。

ユニ、メガネをはずす。個人情報を声に出しながら新聞に書き込んでいく。番号が進むにしたがって言葉に詰まってくる。「個人情報1、171cm、2、体重57kgトヤマ団...(のちに切り取られていて、無い)7、お父さ10、初アレルギー14、子ども車をとめる19、不倫は1回のサプリを飲む22、~のサイズは24、人生で1回大人になってから道で25、人差し指の指紋を新聞におす26、人生で指紋を押ししたのはこれがはじめてではない



個人情報  
に書き込んで  
いる。番号が  
進むにした  
がって言葉  
に詰まると  
なる。お父  
さん、初ア  
レルギー、  
子ども車  
をとめる、  
不倫は1回  
のサプリを  
飲む、~の  
サイズは、  
人生で1回  
大人になっ  
てから道で  
人差し指の  
指紋を新聞  
におす、人  
生で指紋を  
押ししたの  
はこれがは  
じめてでは  
ない



16:05

「逮捕されていた 弁護人によると を 逮捕された 柵に 足を掴んで 宙吊り 誓約書 されたとして 逮捕 さくらいとしひこ 前 受理の可否を検討中 介護ロボット 職員1人がより多くの人を介護できる 4年に行った実証実験 具体的人数 厚労省 ロボットや見守り実験助助」

コロナの状況によってできたオンラインとオフラインのパラレルな実態を裏表それぞれに記す

16:07-16:35

録音機を手にする。「今日の体温は何度ですか?気分はいかがですか?家族とうまくいっていますか?子供の頃を思い出せますか?昨日のことを考えると気分いい?左手はうまく動く?夜はうまく眠れる?ご飯はたくさん食べられる?毎日お風呂に入りますか。毎日歯を磨けますか。毎日服を上手に選べますか。毎日人に優しくできますか。怒ったときに上手に怒れますか。悲しいときに悲しいと言えますか。お母さんと電話をしましたか。お兄ちゃんに電話をしましたか。年末の準備はもう終わり?来年の準備は?」大和、録音をスピーカーで再生する。大和、録音を中止する。大和「はい、はい、いいえ、少しは、いいえ、いいえ、できます、できます、はい、いいえ、いいえ、いいえ、いいえ、できません、できます、はい、はい、はい、とてもよくできます。できません」大和録音を再生する。

暴力的な介護者のもとアイマスクをして足をひきずられる。

16:35-16:40

自立しないモノを自立できるように水漬けにして、その動向を観察する。

16:40-16:xx

ユニはアイマスクをして寝転ぶ。チャンチと大和で足を持ちユニを引きずる。

チャンチは氷を買ってくる。部屋を1周。チャンチが服を脱ぎ、パンツとアイマスクのみを着用し、水漬けにされて、ユニと大和がチャンチを立たせる。





0/1  
1/0



11010110  
2022 12.28  
11000000

Yun P Hong Charpe  
Jang-CHP  
Yamato Yuka

14:03

日刊スポーツ 24面「マジシャン 勝利のイリュージョン 馬券はワイド2点 パワーや脚力がかなり強い 有馬記念 1、2セブンマジシャン 対抗はデビュー2連勝中 東京スポーツ 中山コース 初めてだから△もし3連単を買うならゲート 連勝 走り出すとのびやすい馬 セレンディビティ 一発がでておかしくない ミッキー カブチーノ3着、ライバルは大外にいたから問題ないですね 未知の部分は大きいほど 中山へ到着 おどろく河野氏 セブンマジシャン 母はこんなに早く活躍するとは BSテレ東 社会、経済を揺り動かした 駅伝 テレビショッピング お賞得情報満載]

1枚の紙を世界に見立て、自分の立つ位置、周りに見えるもの、遠くに見えるもの、風景を対話しながら描いてもらう。

14:09-14:xx

他者のブラインドによる欠落を補って並走する。

14:xx-14:xx

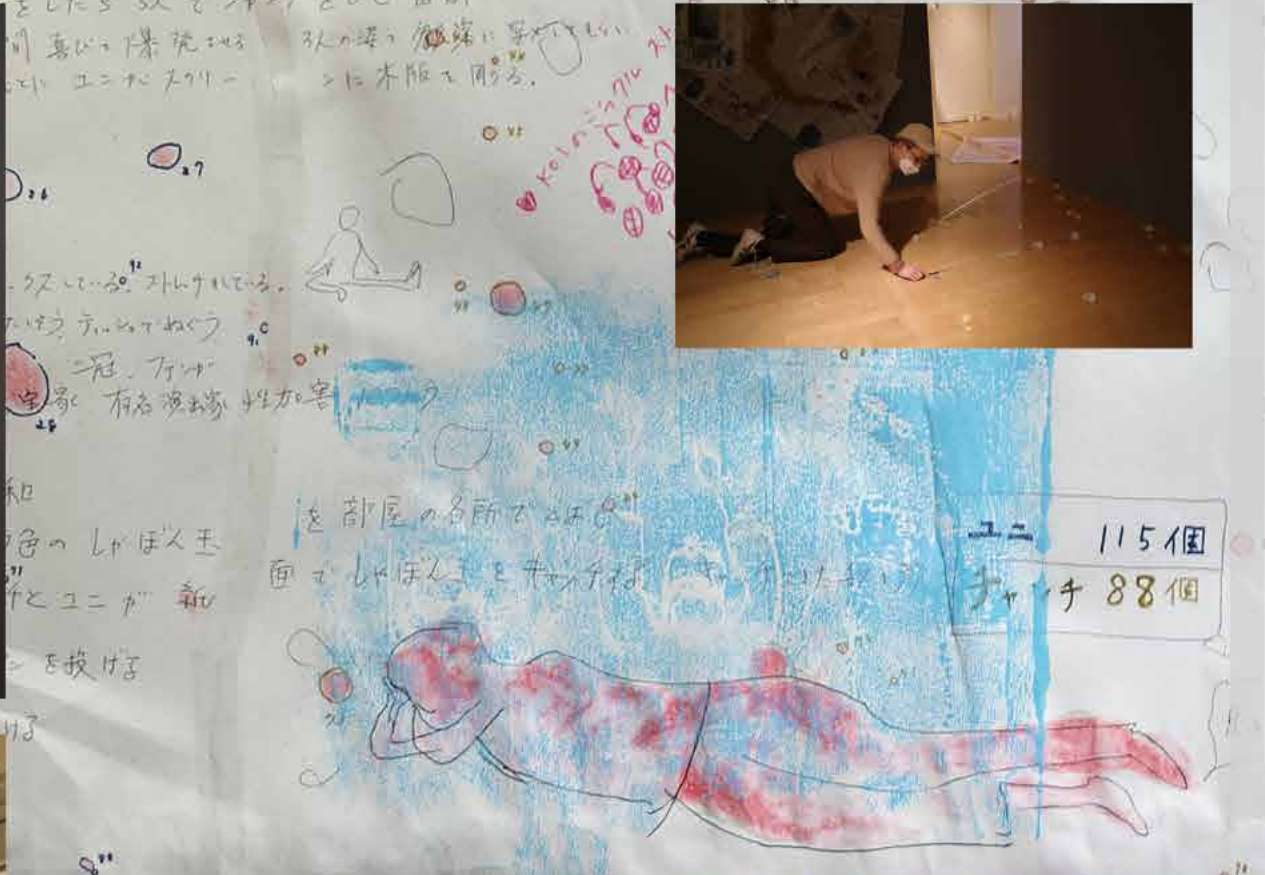
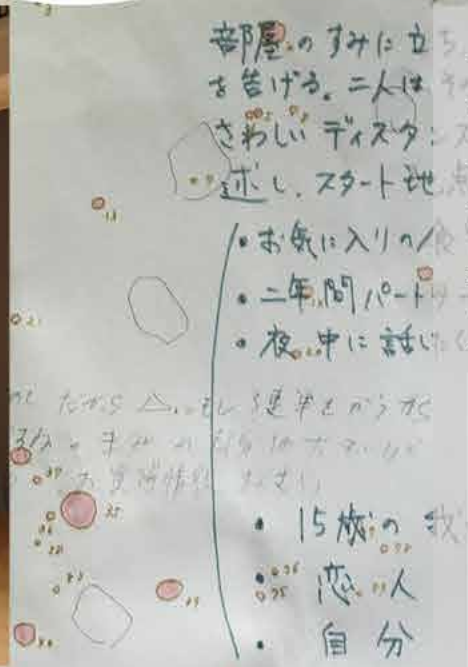
古い図版から風刺画を制作してみる。

14:xx-14:xx

大和、「関係性を告げるので、2人はその関係性を想像して自分をゴールとした時の距離を空間に記述してください」と告げる。「お気に入りの食堂で会釈する相手」「2年前にパートナーを傷つけた相手」「夜中電話できる相手」「15歳の我が子」「恋人」「自分」 ユニ、チャンチが距離を測りながら、部屋にテープを貼る。

チャンチと大和がブラインドでユニがブラインドによる欠落を補いながら走る。

ゴールをしたら3人でジャンプをして喜ぶ。束の間、喜びを爆発させる。3人の姿を観客に写してもらい、それをもとにユニがスクリーンに木版を彫る。



16:02-16:09  
チャンチ、片膝をついてスポーツ新聞を読んでいる。ユニ、両足を投げだしリラックスしてストレッチしている。  
16:03 チャンチ、コーヒーを1か所に大量にこぼす。たまりができて床に流れだしそうになりティッシュでぬぐってから読み始める。「キムタクが歩んだスター街道 日活?石原裕次郎 2回 ファン参加の 2冠 ファンが選ばれた今夜世界から恋が消えても7万8096票 どうする乃木坂 宝塚 有名演出家性加害バワハラ」

ユニ「今後世界からこの恋が消えても」と言い、種をバラまく。床に落ちた種の数をかぞえる。ユニ「今後世界からこの恋が消えても」と言い、氷をバラまく。破片の数を数える。67個。

16:xx-16:xx

(心理的) バブルを観察し、可視化する。怒ることを各自が5回演出する。

16:xx-16:xx

綿の上に赤いインキを垂らす。

16:xx-16:xx

ユニとチャンチがお互いに怒りを演出し合う。ユニが演出してチャンチが怒る-立ち上がる、ボールペンを投げる、舌打ちをする、部屋をでていく...怒りに任せた姿を客観的にとらえる。チャンチが演出してユニが怒る-寝転んで怒る、靴を脱ぎ真ん中の大きな壁を蹴る。大きな低い音が響き渡った後に「足がちょーいたい」というユニの声。

大和、ピンク色のシャボン玉液を作り始めるが、洗剤の配合がうまくいかない。コーヒーハウスの部屋の椅子とスクリーン前のベンチに立ち、ストローを吹いて飛沫を飛ばす。半分に破った新聞用の紙を持って構えたユニ、チャンチがその飛沫をキャッチする。大和は高圧的な態度で2人に数を競わせる。ユニ115個、チャンチ88個、ユニの勝ち。





0/1  
1/0

2023 01.04

Yun P Hong Charpe  
Jang-Chp  
Yamato Yuka  
Joyce Lam

14:01-14:10  
チャンチ新聞をスクリーンの前に線になるように広げる。コーヒーをこぼして読み上げる。拭きながら読む。「父、家族の愛 こんなことなのか気づいた」大和、目をつぶりながら記事を読んでいる。ユニ、ストレッチしながら聞く。横になる。

Wish(願い)を掛  
け合わせる。

14:xx-14:xx 龜

チャンチ「信仰について話を聞かせてください」と呼びかける。  
大和「展示を見たあとに必ず近くにある神社にお参りする」  
ユニ「初詣、お父さんは祈らなかった」  
大和「父が姓名判断を信じていたことにびっくり」  
男性の観客「高校に買ってもらったグローブを未だに捨てられない。今でも使っている」  
女性の観客「信じていることは特にないが、コロナで子供を外に連れていくことが怖くなった。口に出して『大丈夫〜』と言うようにしている」  
大和、録音する。さっきの紙に書いた言葉の反対を読み上げる。

種を植え栽培をは  
じめる。

14:xx-14:xx 龜

ユニは大和に種を渡してもらう。コーヒーがついている新聞に種をまく。  
大和、祈る。  
ユニ「型を変えてください」  
チャンチ、種をまいて、手を広げて上げる。ユニ、種をまく。目をつぶる。大和、ユニのひざを曲げて両手を身体に巻く。3人で種をまいて3人で祈る。

祈りのかたちを作  
る。

14:xx-14:xx 龜



16:04-16:10

ジョイス、朝日新聞国際面生活面オピニオンの3枚分にコーヒーをこぼす。「今日の かれた 東京都 住民 イスラム どちらの国 大きな 火種 対立は今も続いている もう2人は できなくなった 結婚式どころ とじこもる日々 2人はビデオ電話 楽しみに過ごした 1日 祈りつづけ また2年 連絡ついにビザが発給 6年以上 2人と カマルジェイラが泣いている 早く来てほしい ビザが必要 できない2人は かなはず いつかヒンドゥー教の聖地 ビザのとり方の相談 鉄の壁 平和のメッセージ 王様ペレ ペレ お別れの会ブラジルの強豪 チーム大勢涙を流した 最後の 別れ サントス FC15 歳入団 19年在籍 ワールドカップ FC世界の座 サントスサンパウロ中心地人口 40万人港町 ありがとう王様 横断幕 本拠地遺体 スタジアム中央、大勢の市民、親子、祖父の代からのペレの愛した 誇りに思う 本当にありがとう なぜ差別 分断がおきている いろいろな種類 移民難民グローバル 今だけ 空間 理解できません」

誕生について考  
える。

16:11-16:34 龜

新聞を背中、もし  
くは傘(雨の場  
合)に貼り付け、  
散歩する。

16:11-16:34 龜

チャンチ「早く会えますようになど、いろいろな言葉があったが、どんな情報も通り過ぎていく。新聞をまどって外を散歩したい」と始まり、ユニ、チャンチ、新聞を物色し、まどいだす。ユニ、左足に新聞をまきつけてテープで固定する。古新聞に安倍首相の写真が載っている。右足にも巻きつける。チャンチ、足を広げて座り、足に新聞を巻いていく。ユニ、左腕にも巻きつける。チャンチはほぼ全身に巻きつける。ジョイスは「結婚、誕生、戦争などの言葉があるが、それらの出来事と自分との距離を測りたい」とチャンチとユニに紐を持たせて、ピンと張るように持つことをお願いする。紐の長さで2人の距離が決定する。3階から2人で降りていく。紐の距離を維持する。先にチャンチが行きユニが待つ。外に出るユニが引っ張っていく。ユニが走る。チャンチの新聞が破れていく。

祈りのかたちを作  
る。「1日でも早  
く会えますよう  
に」

16:xx-16:xx 龜

体に希望を吸い込  
む。

16:34-16:xx 龜

外の掲示板前で、チャンチとユニが「あなたに1日でも早く会えますように」と叫ぶ。祈りのポーズ(形)をジョイスが直す。ジョイス、紐を持ち替えさせて、紐を引っ張り、チャンチが閉じていた目を開けて移動する。











11010110  
2023 01.06  
11000000

Yun & Hong Charpe  
Joyce Lam  
Yamato Yuka  
Tsukerimoto Ayumi

14:02-14:10

ジョイス、毎日新聞 12,15 面にコーヒーをこぼす。「共に東京 多摩川 青梅市 沿いに奥多摩 530m ある都民の水がめ 100 真下 交通局ふくめて 16km 水力発電所 豊かな水が都民 明治 路面電車 1911 20 年度水道のダム建設 水力発電 玉川第三 ダム ショマル発電所 新規感染コロナ 1 万 1569 人 10 週ぶりの減少 新規 67% そういふ男 子育て 配偶 一般論ではない 年齢公表 お母さん 歳を偽る 28 歳 はたから見ればどうでもいいこと 母の言い方 ねえ、大福さんに 迷子 父駐車券を忘れる 山田養蜂場花粉は有用だ」

新聞紙で人形をつくり、電化させる。

「急激な電化と育児。新聞紙で人の形をつかって電化させたい」と、新聞で人形を作り出す。土本、心臓音を録りだす。ダッシュしてドキドキするが、音が小さいので録音できず。土本の心臓音の速度で床をたたいて改めて録音。人形に音を宿す。

14:12-14:24

目に頼らない音だけの Rotation/Notation を試みる。

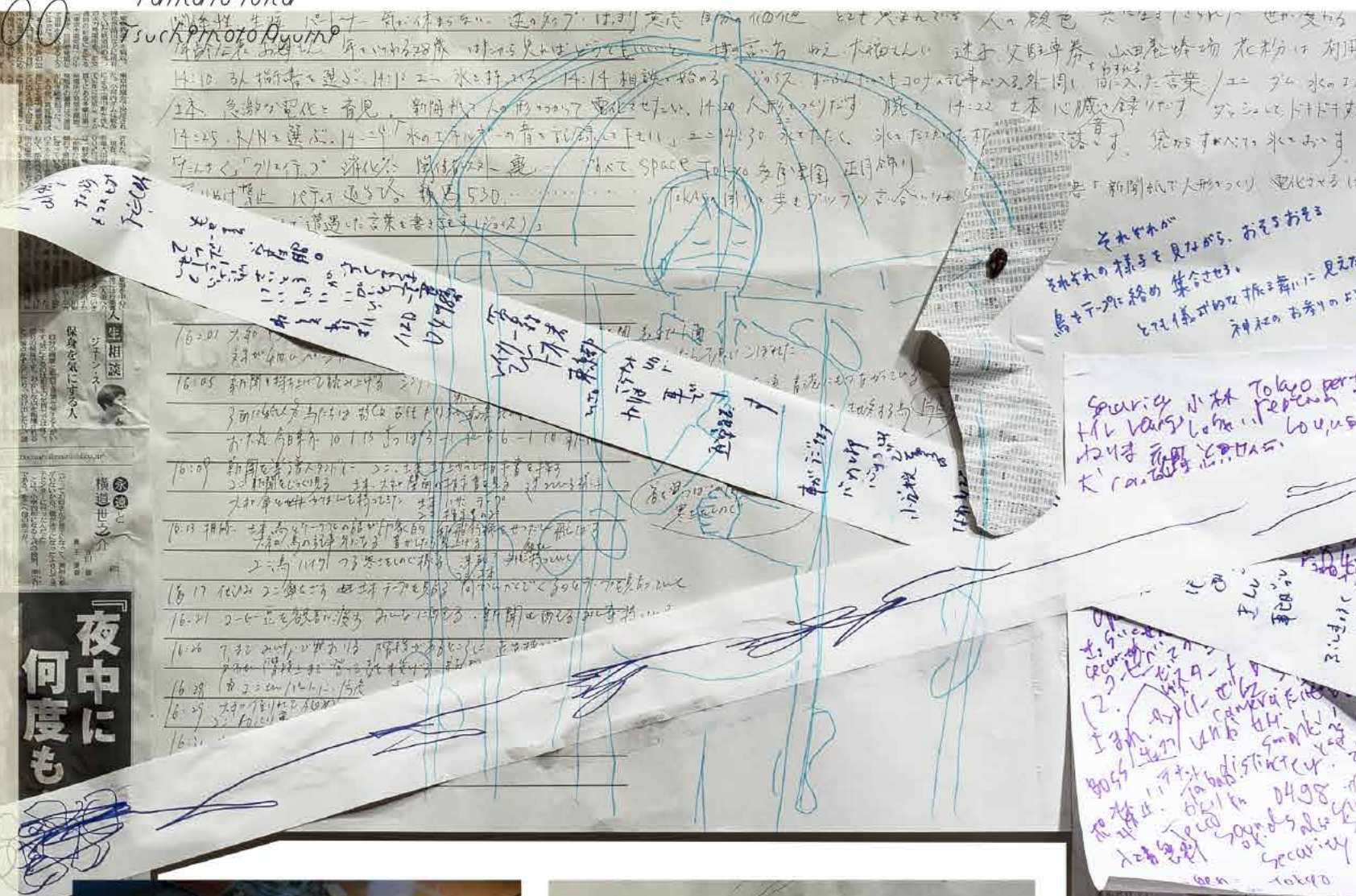
土本、ジョイスは Rotation / Notation を選んで、身体につける。「氷のエネルギーの音を記録してください」とユニ。氷をたたく。立てかけた板から氷を落とす。袋からすべての氷を落とす。土本、ジョイスは立てかけた板を背にして、氷の立てる音を頼りに Rotation / Notation で記録する。

14:25-14:35

不要不急の旅行で遭遇した言葉を書き記す。

観客とともに外に出て行く。「たんさく、クリエイティブ、消化器、関係者以外、亀……すべて、SPACE、TOKYO、多摩霊園、正月飾り、通り抜け禁止、パティオ、通学路、練馬、530……」と、TOKAS の周りを歩き、目に入った言葉をプツプツ言い合いながら戻ってくる。土本、ユニは一緒に歩きながら、それらの言葉を Rotation / Notation で記録する。

14:35-14:xx



16:01

大和、文字が細かいページを持ち上げて読み上げる。  
「3面に続く 鳥たちは 古代ギリシャ 最果 お天気 今日東京 10115 さっぼろ 3-1 仙台 6-110 秋田」

相談。土本は鳥とケーブルの話が印象的だったので、紙飛行機を飛ばしたい。大和も鳥の記事が気になる。傘をさし、下を向いているので、空にいる鳥を見上げるための何かをしたい。ユニは、鶴の凍死に関する新聞記事に、「片脚で立ち首を翼にはさんで寒さをしのぐ凍鶴」とあり、鶴が寒さをしのぐ様子と鳥が凍死する姿を演じ再現したいと話す。仕込み。大和が傘をさし、土本が縁に沿って同間隔でテープを貼っていく。コーヒー豆と新聞を観客に配布し、みんなで下まで降りる。TOKAS 本郷の道路の向かいの階段があるところまで行く。観客の一人は階段上まで登って豆を投げる。大和、音がするたびに空を見上げる。ユニ、大和、片足で立つ。土本は少し登ったところの花壇に体を寄せて片足で立つ。ゆっくり死ぬ。大和、倒れて死ぬ。ユニは少し経ったあとにゆっくり死ぬ。

鳥よけ銀色テープを用紙に平行に貼り、同じ用紙を何度もスキャンする。

16:13-16:xx

傘をさす、空を見上げる。

16:17-16:29

死を身体で想像する。

16:17-16:29







2023 01.07



14:02 夕刊フジを床に広げ、1面その他3面にコーヒーをこぼす。 「超過死亡 予測六千人上回る 過去最大発表 同時期一萬〇〇〇人だった 医療ひっばくで ICBM日本標的プーチン自身は何をすべきかわかっていない やぶれかぶれの戦い」

14:10 土本、新聞を固め出す。 14:11 ユニ「思いつかない」 「宇佐美、チャンチ、土本、ユニ、観客の前まで行って顔を見つめて、マスクで隠れている部分を想像して言う。「少し開いている口、かすかに聞こえる呼吸の音」「鼻ではできないので口でも呼吸をしている」「少し緩んだ口元」「乾いた唇の膜」「閉じているけれど笑っているかもしれない口」「赤い口紅」「舌が動いている」「笑いをおさえている」「吐息でメガネがくもっている」

14:10-14:20 摩擦打撃圧縮する、火のつくり方を考えてみる。 4人がいっせいに火を起こすように新聞を摩擦する。床にたたきつける。破裂音がする。足にこすりつける。梁にぶつける。途中から暴力的に新聞を取り合い始める。持っているものを激しく取り合って走り回る。こまかくこまかく。ユニが大量に持つがすぐに奪われる。手放す。

14:10-14:20 暴力機関に与えられた以下の問いを反芻しながら街を沈思彷徨せよ。みんなのオリンピックに特別ルールはありません。独り占めはご遠慮ください。

16:02 土本、日本経済新聞を床に広げ、読む。 16:04 右手にカップ、左手にコーヒーをつまみながら新聞の上に散らす。「からだの〇〇の行動 かつこいい楽曲をはなて 障害のある人が生み出すアート 弟の 前向き 障害 社会が合わせた方が フツウじゃない人 向こう岸から誰かが 私は78年 死は私にとって極めて身近になりそう 愛読者である詩人ナガタヒロシ 死んだ知人が何も語らず私の時間を した実感ナガタサンの詩 記しておられる 亡くなったあとの人が運動科学的知見をもとに健康づくりを 2022年1日の消費力 それでも運動 同じく人々の思い込みと科学的知見の 風動かしながら運ぶアクティビティ 運動は良い様々な影響 手に入れている ことかもしれない これを書いた人の心理 日本人男性との間に生まれたフランスの養子 上海のこの物語の紙、インクなどの 河川が広がるようにつまみ食いの 的に ゴッホの絵はずっと映えるが印刷物になることを意識している 大竹アキコ支えないで それを救ったのは支援の力 宅配便 クジラを通して労働 人々の強さをよりは の嵐の中 いかにも地域 作家サウミアリュウ」

16:12-16:15 最初の、土本は「障害(アイマスク)アールブリュット」、ジョイスは「普通と、普通じゃない人についてのリスト」の指示書を選んだが、内容を合体する。 土本、片足を引きずる。ジョイス、後転しながら1周し始める。土本、地面を這いつくばり、1周し始める。ジョイス、息を切らしている。土本「助けてください」大和が土本の手を引っ張り、助ける。

16:15-16:22 時間に穴を穿ち、穴の意味を考える。 16:15-16:22 穴が開く。チャンチ、ユニが穴からのぞいている様子をiPhoneで撮影する。ユニの目の写真をiPhoneに表示し、穴から見えるように固定する。



Yun Hong Charpe  
Jung Chee  
2023 01.07  
Yamato Tuka  
Tsukamoto Ryunosuke  
Joyce Lam  
Asami Nao

17:35-17:36 ライオンヘッドを開ける。大和、ライオンヘッドに入っていた指示書を読み上げる。 17:42-17:52 大和、今日の新聞を探す。中央で広げる 立って持ちながら読む じっくり読む 17:45 新聞を床に置いてめくる ライオンヘッドの口を通してコーヒーをたらす コーヒーはかなり跳ねて落ちる 「それもすでに修正 円安 FRB 縮小 2022年12月23日 日銀 ゼロ金利 6日 4兆200億円 3日間で5兆円の資産 急激の円安 個人投資家 資産運用 為替 今月1から3日 46% 32% 年全体 マーケットリスクアドバイザー 円安、円高 世界経済が recession 悩む ゼロコロナ 中国経済 世界株 緩和修正 岸田 物価 日銀の方針 相場の波にうまく分散 慌てて売るプロのように 焦る必要はない」

「今日歩いた歩数」 →「今日使ったお金」	女を生きることとは。	聞かれない声のためのレジスタンスについて記事作成すること。	誰かにコーヒーを入れてあげる。
17:50-18:09	17:50-18:09	17:50-18:09	18:09-18:xx

17:50-18:09 宇佐美、新聞を折ってちぎる。ユニ、チャンチ、土本もお札の形にちぎって中央に並べる。ユニ、観客にも渡してちぎってもらう。会場いっぱいにならべていく。丸いコインも作成する。宇佐美、お札の上に寝転び始めて、土本、ユニ、チャンチも寝転ぶ。チャンチ「今日何にお金を使いました？」宇佐美「チキン、おにぎり、400円」と答える。チャンチ「今日何にお金を使いました？」ユニ「新聞、チョコ」と。チャンチ「カフェラテ」。「グレープフルーツジュース」。途中から、観客に「女を生きることとは」と聞くようになる。「親の期待に応える」「子どもを産む」「女を使うことでのしあがる」 18:07土本、先ほど聞いた回答を演じる。赤ちゃんを抱っこするように動く。ユニは「女として生きることとはわからない」と言う。チャンチ、勇敢な動きをする。拍手、スキップ。「To live as a woman means to be brave」と。他の人も勇敢な動きをしてほしいと促す。ユニ、スクリーンを蹴る。スクリーンに固定していたチャンチのスマホが落ちる。

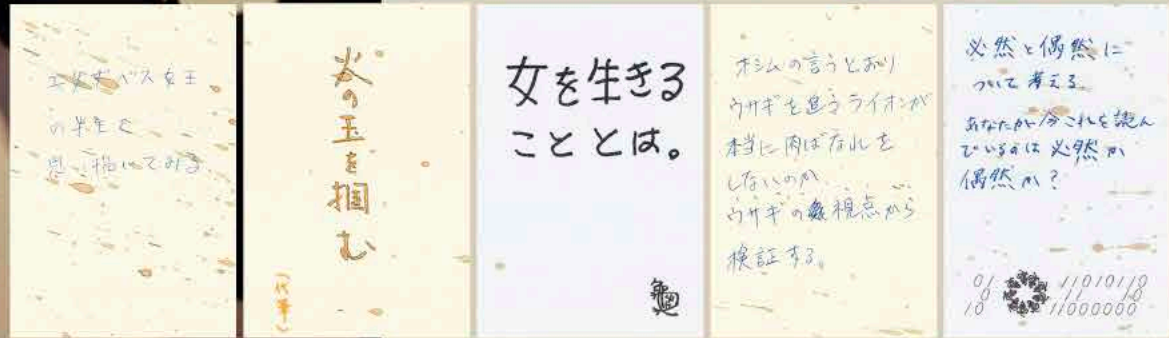
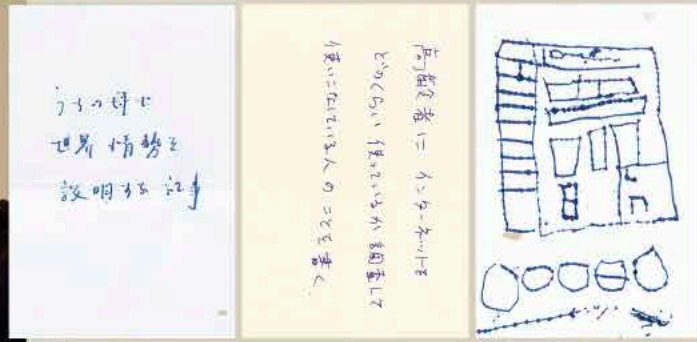
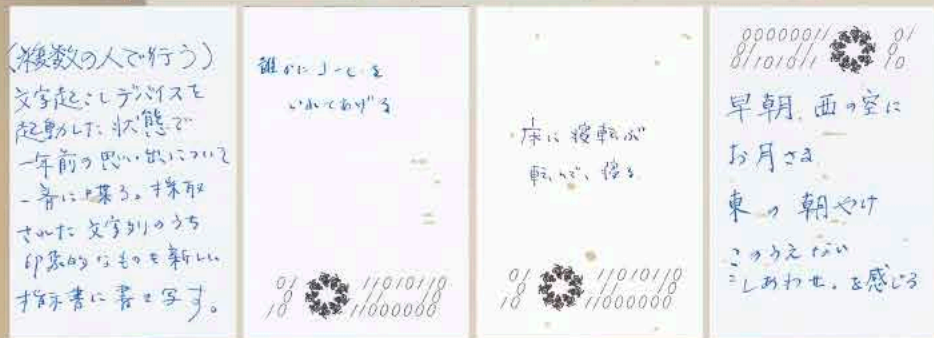
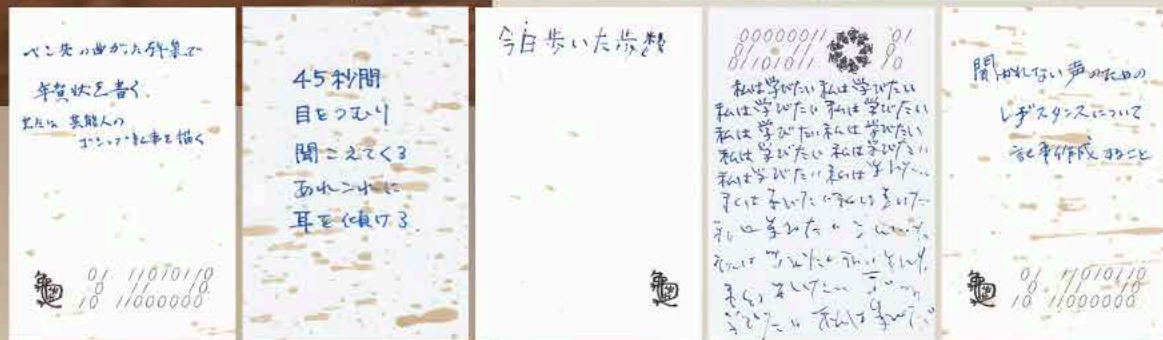
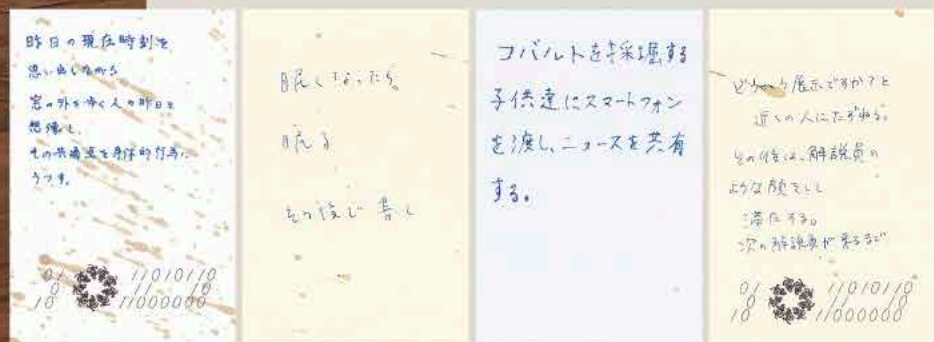






スクリーン裏の部屋で、観客は一人で椅子に座りペンをとれるようになっている。テーブルには指示書「記事作成のための指示書をライオンの口に投函する」、壁にはライオンの頭がついた投書箱が設置される。この箱は、かつて作家ジョセフ・アディソンがバトンス・コーヒーハウスに置いたというライオンヘッド・レターボックスを参照している。最終日に箱を開き、会期中に投函された21枚の新しい指示書を公開した。

In a room behind the screen, the audience can sit alone on a chair and take a pen. On the table, there was an instruction card saying: "Post instruction into lion's mouth for creating new article," and on the wall, there was a letterbox with a lion's head on it. The box is a reference to the lion head letterbox that Joseph Addison had once placed in Button's Coffee House. The box was opened on the last day of the exhibition to reveal 21 new instruction cards that were posted by the audience during the exhibition period.



## Where the lion still lives | KANIE Naha

### 未だ獅子が生きている場所 — カニエ・ナハ

「年末年始」などとは無関係に地球はまわりつづけ、世界は社会は動きつづけているので、新聞も動きつづけている。2022年の年末から2023年の年始にかけてTOKAS本郷で開催された、Ad Morningsの新聞を主題にした展覧会は、展覧会場であると同時に編集室でもあり、パフォーマンスの場であり、事件の現場であり、読者との交感の広場であった。Ad Morningsは2020年、コロナ禍の只中に結成・活動が開始された。筆者もその一端を目撃してきたが、一つにはコロナ禍により調整・変化を余儀なくされた身体感覚、めくるめくニュース・情報と心身との関係を、紙面・記事を世界ないし社会と集団・個人との境界面として、再考・再構築(そして、再生)することが企図されていたように見える。そこから二年、三年と経ち、コロナ禍はその様相を刻々変化させつつ、依然終息を見せないまま、間に2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会という大きな「祭りごと(=政)」がさらなる情報の錯綜と、人々の分断をもたらしながら強行された。その間もAd Morningsは都度実験・実践を繰り返しながら大きな流れに抗うように暗躍をつづけている。膨らみもすれば麻痺もする人々の違和や異議を、その独特の取材方法と自身らの身体でもって(つまりは、からだを張って)、現場へと現前させ、記事にし、紙面(それは単に紙面と呼ぶには大きな抵抗を伴う、「抵抗のオブジェ」とても呼ぶべきもの)へと彫刻してきた(それらの一部を会場に流れていた映像作品にて今回垣間見ることができた)。

今回の展示の会期の間、毎日14時と16時にパフォーマンスが行われた。14時過ぎに筆者が訪れると、すでに始まっていたパフォーマンスでは、どうやら死のシーンを想像して、三人の記者が三様にそれを演じるということらしい。撃たれてあっけなくおれる者がいれば、横たわりゆっくりと潰えていく者もある。そのあっけなさも、間延びした静けさも、文字をただ目で追っていただけでは見過ごしてしまう、個別の死のリアリティであり、他者の生の多様さのリアリティ……生きている死の記事だ。次のパフォーマンスでは、記者が口に紐を咥え、次第に含んでいきながら、新聞に零したコーヒーの染みのついた箇所を読む。何を言っているか、聴き取れそうで聴き取れない。そのもどかしさ。(あとでその記事が何であったか尋ねると、偶々なのだが、お正月にもちを喉に詰まらせて亡くなった人にまつわるものだったという。)伝わらない情報への渴望を蘇らせる。これら抽象的にして象徴的な行為たちは、他にもさまざまな「読み」の可能性に開かれている。これら行為がいずれもニュース・情報ということにまつわる現在の現状の、鋭いメタファーになっていると感じる。かたわらでそれらの行為を記録している記者がいて、それが次の新聞になる。

会場の奥にはその口の中へと誰もが投書できる、獅子の頭の像がある。かつて他・多ジャンルの者たちが集いコーヒーを片手に活発に議論を交わし、ジャーナリズムの起源となったという17世紀英国の「コーヒーハウス」の記憶が召喚される。ニュースを読み、身体で情報と対峙し、他者と生きた議論を交わす…そういった原初の場そのものこそが、あまねく権力を睥睨し威嚇する、百獣の王であるのだというように。

#### カニエ・ナハ

詩人。2010年「ユリイカの新人」としてデビュー。2015年エルスール財団新人賞(現代詩部門)。2016年詩集「用意された食卓」で第21回中原中也賞。詩を軸に他ジャンルとの境界面にさまざまな活動を行っている。

Irrespective of the New Year holiday season, the earth keeps turning, society keeps running, and so do newspapers. Held at TOKAS Hongo from the end of 2022 to the beginning of 2023, Ad Mornings' exhibition that focuses on newspapers was an exhibition space and an editorial office, a site of performance, events, and an open space of interaction with its readers. Ad Mornings was established and began its activities in 2020 amid the covid pandemic. I have witnessed some of the events, and one of the main aims seems to have been to reconsider and reconstruct (and then regenerate) the bodily sensations that had to be adjusted and altered as a result of the covid pandemic, and the relationship between the mind, the body and the dizzying news and information, using the pages and articles as the boundary between the world / the society or the group or individual. Two or three years have passed since then. While the pandemic has been continuously changing with no end in sight, the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games, a major "festival" (=politics) has been forced upon us, causing further information complications and dividing the people. In the meantime, Ad Mornings has continued to experiment and practice and to resist the significant flow of events. Using their unique reporting methods and their own bodies (in other words, with all one's strength,) they have brought the discontents and objections of people, which are both inflated and paralyzed, onto the site, written articles (which should be called "objects of resistance," as there is too much resistance to call them simply "prints") about them and sculpted them into print (while some of them were shown as a video work in the exhibition.)

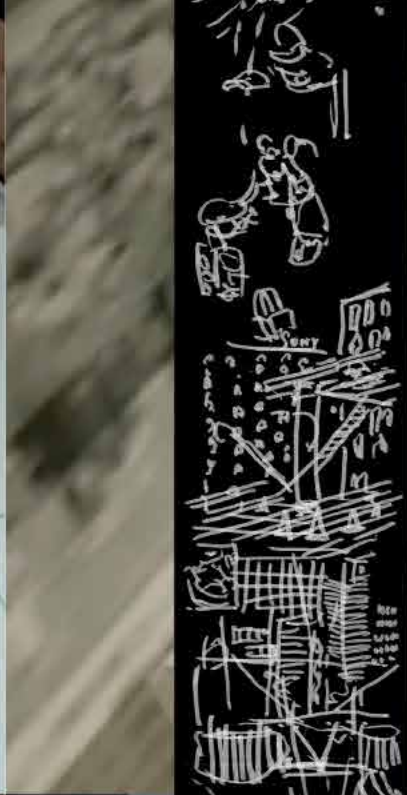
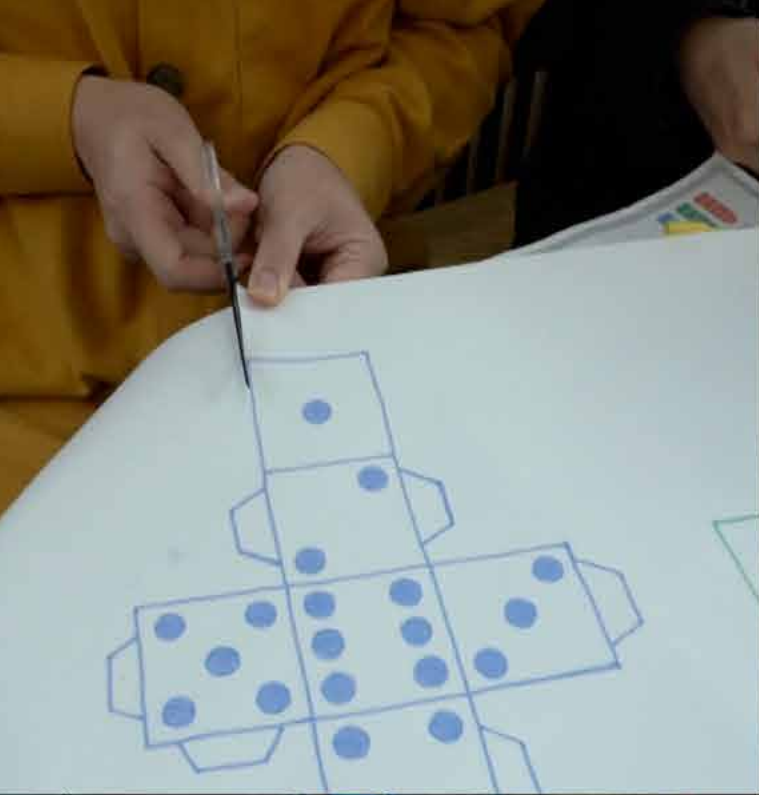
During the exhibition period, performances were held every day at 2pm and 4pm. When I visited the exhibition a little past 2pm, the performance had already begun, and three reporters were apparently imagining a death scene and acting it out in their own ways. One was shot and crumpled quickly, and another lay down and slowly lost consciousness. The hastiness and the prolonged silence showed the reality of individual deaths and the diversity of other people's lives, which would be missed if you just followed the text with your eyes..... it is a living article about death. In the next part of the performance, a reporter bites on a bundle of string in her mouth and continuously adds more while reading a coffee-stained section of an article. It is difficult to hear what is being said. The frustration. (When I later asked what the article was about, I was told it was about a person who died after choking on mochi, or rice cakes, during the New Year.) Reviving a thirst for information that is not conveyed. These abstract and symbolic acts are open to various 'reading' possibilities. I feel that each of these actions is an acute metaphor for the current state of news and information. On the side, a reporter is recording all these actions, which will become the next newspaper.

At the back of the room is a statue of a lion's head, which anyone can write and post into its mouth. Memories of the 17th-century English 'coffeehouses,' where people from many different genres gathered to engage in lively discussions over a cup of coffee, and where journalism originated, are summoned up. Reading the news, confronting information with one's body and engaging in live discussions with others... such a primordial place is itself the king of the hundred beasts, glaring at and threatening the powers that be.

#### KANIE Naha

Kanie Naha is a poet who debuted in 2010 as a "Eureka Newcomer." He won the 2015 El Sur Foundation Newcomer Award for Contemporary Poetry and was awarded the 21st Nakahara Chuya Prize for his poetry collection "The Prepared Table" in 2016. He is involved in various activities that cross the border between poetry and other genres.





黒服の会社員の海の中で目に余る波の花である私が、









19 +5297	INDEX
59 +38	
86 +207975	
90 +72	
1756154(203)	
82.0%	
80.9%	
62.4%	



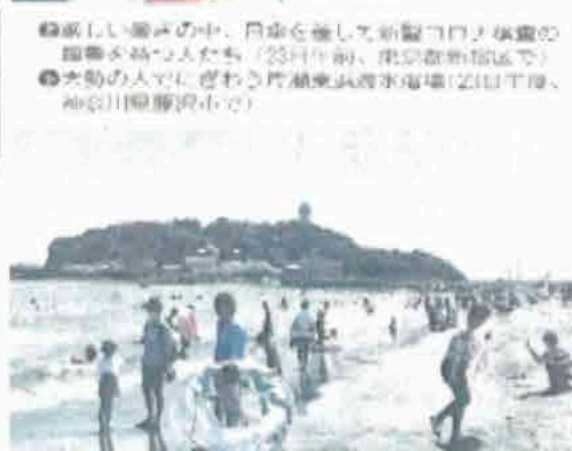
初めの週末を迎えた後日、全国の新型コロナ感染者が20万人を越えた。感染対策を厳格化する一方で、観光の予約をキャンセルし、旅行や帰省を控えた。この週末、全国的にPCR検査センターが開設され、多くの人が検査を受けた。PCR検査センターの開設は、感染対策の重要な一環として行われている。

# 悩む夏

東京	1913436	+3269
神奈川	154296	+1371
新潟	82794	+184
山梨	49403	+899
石川	72155	+133
福井	48166	+93
山梨	62942	+94
長野	92113	+162
岐阜	12920	+2110
静岡	224652	+6425
愛知	892658	+1424
三重	107204	+1092



ワクチン4回目  
各地で本格化



累計1121万2886	+207975
死者	131KWD
死者	+72
状況	2021年06月
把握済み者	101万6154(203)
接種状況	2711
1億383万394	82.0%
1億246万6353	80.9%
7906万3503	62.4%
646万2619	



# 悩む夏

## 新型コロナ急拡大

ワクチン接種センター  
各地で本格化

ワクチン接種センターが各地で本格化している。多くの人が予約をとり、接種を受けている。これは、感染対策の重要な一環として行われている。

全国的にPCR検査センターが開設され、多くの人が検査を受けた。

ワクチン4回目  
各地で本格化



国は、旅行や帰省や人増えるお盆期間を挟んだ5〜18日の2週間、JR駅など各地の主要駅や羽田の空港約100か所に無料検査場を設ける予定。

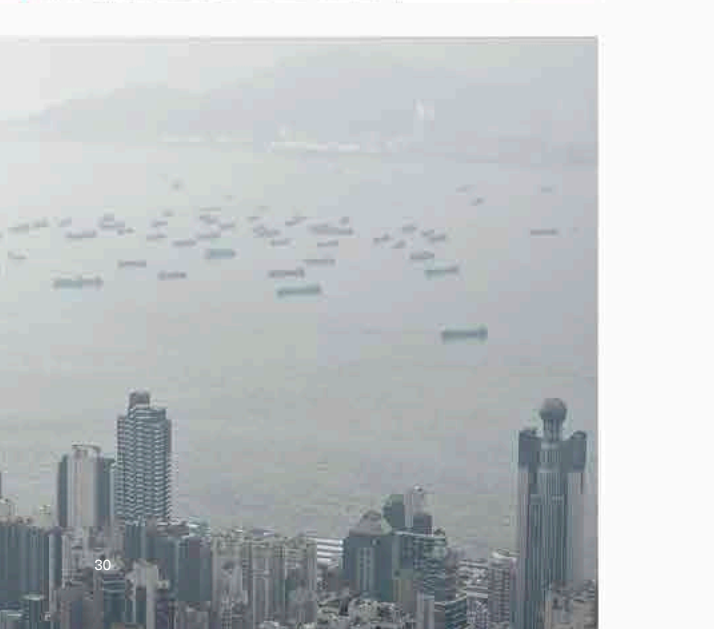
In fact I will be coming to Japan with a professional trip visa and applying for the artist visa once I am there 11:28 am

You  
I'm trying to do so but having a hard time getting all the right documents...

In fact it is not possible to apply as an independent artist without being there yourself. No one except your husband or your direct family can apply on your behalf. The easier solution is to apply to a non independent artist visa: in this case the company who employs you can apply on your behalf. This is what I have figured out but I may be mistaken 11:33 am

Oh no - yeh, I think there needs to be an organisation, especially with covid things seem to be even more complicated 11:34 am

You  
Oh no - yeh, I think there needs to be an organisation, especially 11:34 am





2020年結成。新聞は日々の情報が活字化された記事となり、言葉や図像の予期しない組み合わせ、または折りたたむ、ページをめくるという読者の操作を伴う媒体です。無作為の徴(Random Sign)のアナグラムから命名された「Ad Mornings」は、言葉と形態のあいだの指示、命名、記述、配置に着目し、不可視の存在について複数の記者が「行為のスペック」を提示し、「痕跡のトレース」を生成します。さらに、出来た紙面を路上や駅前などの公共空間などで、見る、読む、あるいはその出来事を目撃する、といった行為を再提示し、発行を試みます。

---

#### Place of Living Information 20220607\_20230107 メンバー

Jang-Chi (オル太)  
大和由佳 (アーティスト)  
土本亜祐美 (アーティスト)  
ゾエ・シェレンバウム (アーティスト)  
ユニ・ホン・シャープ (アーティスト)  
山科晃一 (映像作家 / 小説家)  
ジョイス・ラム (アーティスト / 書籍編集者)  
宇佐美奈緒 (アーティスト)

---

#### 主な活動歴

- 2022 「Ad Mornings\_Migration」(城崎国際アートセンター、兵庫)
- 2021 オル太《生者のくに》(KAAT 神奈川芸術劇場、神奈川) (Buoy、東京) (神戸アートビレッジセンター、兵庫)
- 2021 「RAM PRACTICE 2021」EXHIBITION」(東京藝術大学横浜校地元町中華街校舎、神奈川)
- 2021 「No More Hibakusha. A future without nuclear weapons」(聖ミカエル教会、ベルギー・ルーヴェン)

Formed in 2020, Ad Mornings is an anagram of "Random Sign." Newspapers are a medium in which daily information is set in type, printed as articles and involve the manipulation of unexpected combinations of words and images, as well as the reader's action of folding and turning the pages. Focusing on the instructions, naming, descriptions and arrangements between words and forms, reporters from multiple locations present "specifications for actions" while generating "traces of vestiges." Furthermore, the newspapers made will be re-presented and re-published through actions taken in public spaces like the street or in front of train stations, where people can see, read or witness the event.

---

#### "Place of Living Information 20220607\_20230107" Members

Jang-Chi (OLTA)  
YAMATO Yuka (artist)  
TSUCHIMOTO Ayumi (artist)  
Zoé SCHELLENBAUM (artist)  
Yuni Hong Charpe (artist)  
YAMASHINA Koichi (video artist / novelist)  
Joyce LAM (artist / book editor)  
USAMI Nao (artist)

---

#### Recent exhibitions and performances

- 2022 "Ad Mornings\_Migration," Kinosaki International Arts Center, Hyogo, Japan
- 2021 OLTA "Land of the Living," Kanagawa Arts Theatre (Kanagawa,) Buoy (Tokyo,) Kobe Art Village Center (Hyogo,) Japan
- 2021 "RAM PRACTICE 2021 EXHIBITION," Tokyo University of the Arts Yokohama Campus Motomachi-Chukagai Building, Kanagawa, Japan
- 2021 "No More Hibakusha. A future without nuclear weapons," Saint Michael's Church, Leuven, Belgium



## OPEN SITE 7

### Ad Mornings「Place of Living Information」

会期	2022年12月22日(木)～2023年1月7日(土)
会場	トーキョーアーツアンドスペース本郷
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース
会場施工	スーパー・ファクトリー株式会社
著者	Ad Mornings
レビュー執筆	カニエ・ナハ、町村悠香
編集	ジョイス・ラム、Jang-Chi、土本亜祐美、大和由佳 (Ad Mornings) 岸本麻衣 花岡美緒、大島彩子 (トーキョーアーツアンドスペース)
展示写真	高橋健治 (表紙、pp.2～5、24)
パフォーマンス写真	Ad Mornings、早川純一 (pp.6、14～15)、MANABE Anna (p.14)、中川達彦 (pp.22～23)
翻訳	ジョイス・ラム (Ad Mornings)
デザイン	土本亜祐美、大和由佳、ゾエ・シェレンバウム (Ad Mornings) 寺井恵司
印刷	三永印刷株式会社
発行	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース
発行日	2023年3月28日



# OPEN SITE

### Ad Mornings “Place of Living Information”

Date	2022/12/22 (Thu) – 2023/1/7 (Sat)
Venue	Tokyo Arts and Space Hongo
Organizer	Tokyo Arts and Space, Museum of Contemporary Art Tokyo, Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture
Installation	SUPER FACTORY Co., Ltd.
Author	Ad Mornings
Texts	KANIE Naha, MACHIMURA Haruka
Edit	Joyce LAM, Jang-Chi, TSUCHIMOTO Ayumi, YAMATO Yuka (Ad Mornings) KISHIMOTO Mai HANAOKA Mio, OSHIMA Ayako (TOKAS)
Installation Photos	TAKAHASHI Kenji (cover, pp.2–5, 24)
Performance Photos	Ad Mornings, HAYAKAWA Junichi (pp.6, 14–15), MANABE Anna (p.14), NAKAGAWA Tatsuhiko (pp.22–23)
Translation	Joyce LAM (Ad Mornings)
Design	TSUCHIMOTO Ayumi, YAMATO Yuka, Zoé SCHELLENBAUM (Ad Mornings) TERAI Keiji
Printing	Sanei Printery Co., Ltd.
Published by	Tokyo Arts and Space, Museum of Contemporary Art Tokyo, Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture
Published on	March 28, 2023

<https://www.tokyoartsandspace.jp/>